



『皇帝ダリア』 切り絵・内中 澄江

## 第6回地域交流カフェのご案内

日時：12月20日（火曜日）、12：00から

場所：看護小規模多機能さんしょうリビング

**クリスマスをみんなで楽しみましょう**

紙芝居「松戸の昔話」内中澄江さん(上切り絵の作者です)ほか4名

グレースホーム聖歌隊、職員ハンドベル部出演

**参加自由です、ぜひご参加ください。**



# 「行政や医療や介護が、住民に巻き込まれたら何ができるかと考えたほうが、新しいものが生まれる」!?

## 常盤平地区高齢者支援研修会に参加しました

中野 三代子

10月6日、看護小規模多機能さんしょうに常盤平地区高齢者支援連絡会相談協力員の4名の方々が訪問見学に来てくださりました。11月24日、常盤平市民センターホールで、その施設見学報告会が公開講座として開かれるという案内をいただき、大塚かずみ所長と参加してきました。

高齢者支援連絡会は、高齢者の皆さんを地域全体で見守り支援していこうと、「相談協力員」「地域ボランティア」と呼ばれる地域のボランティアの方たちが、医療・介護・行政の専門機関と連携しながら活動しています。松戸市では九つのエリアで連絡会が活動をしています。

見学報告会では、さんしょうの見学報告が一番初めでしたので、少々緊張してお聞きしました。

報告では、とても丁寧に看護小規模多機能型居宅介護さんしょうの事業概要をお話いただきました。

「通いや泊り、利用者宅への訪問看護・訪問介護が可能であり、それらが一括契約で、事務手続きも非常に合理化されていた。向かいが三和病院であり利用者にとっては心強い次第である」「すべてが新しく清潔感が漂っていた。特に浴室は車いすに乗ったままで利用可能であり、利用者および介護の方々の負担も軽く、印象的であった」「職員は、笑顔で好印象」「さんしょうは小粒でピリリと辛い（アットホームだがとても良い）」というお言葉もいただき、ありがたく感じました。幸樹会の地域活動、地域交流カフェやあんず畑の収穫祭、お芋ほり大会などについても報告いただきました。

このあと、特養なでしこ、特養ひまわりの丘・デイひまわりの家・デイひだまりハウス、サ高住グリーンヒル小金原・通所リハビルズリハ小金原、小規模多機能ゆいまーる八ヶ崎の見学報告がおこなわれました。



### ▲みんなで「パタカラ体操」（さんしょう）

介護事業所の類型や機能は複雑多様で、一般の方々にはわかりにくいものがありますが、報告はそれぞれの施設・事業所の施設概要や活動の特徴とともに、住民が本当に安心して暮らせる地域になっているかという視点を踏まえての報告で、どの発表者も時間が足りないくらい内容が濃く、非常に熱心な発表でした。

地域の祭りに模擬店を出店して交流、筋トレ教室参加者と入居者との交流など地域に開かれたアンテナショップ的な場所をめざすとくみ（ひまわりの丘）、食事の宅配（なでしこ）など、私たちが見習いたいものがあり、参考になりました。

また、「地域包括ケアは、住民を巻き込んで作ると言われていますが、そうではなく、むしろ“行政や医療や介護が、住民に巻き込まれたら何ができるか？”と考えたほうが、新しいものが生まれるようにも思います」との意見がありました。

「うーん。なるほど！」

幸樹会のあんず畑の活動も、吉岡さんのエネルギーに巻き込まれて取り組んできたものです。地域の皆さんの主体的な取り組みや提起に、これからも幸樹会は積極的に巻き込まれて行こうと思った報告会でした。

## 職員紹介

からたち薬では、明るくて元気な私たちがお待ちしております！



▲左から、からたち薬局薬剤師の堀江百代さん、三輪佳代子さん、風間幸子さん

### 幸樹会理事・薬剤師 三輪 佳代子

からたち薬局で11月から非常勤で働いています。平均年齢を大幅に上げてしまいましたが、周りの方の優しさに支えられています。

衰え行く体力と知力とのせめぎあいの毎日ですが、よろしく願いいたします。

### 薬剤師 風間 幸子

主人の転勤を機に20年勤めていた製薬メーカーを辞め、生まれ育った八柱にあるからたち薬局の一員となりました。医療は日々進歩。今は取り残されない様に勉強の毎日です。そして、いつも笑顔で患者さんに接するためには、まずは自分の健康！週末のスポーツクラブ通いも欠かせません。

どうぞよろしく願いいたします。

### 薬剤師 堀江 百代

からたち薬局の一員になってからもうすぐ一年になります。患者さんの顔も少しずつですがわかるようになってきました。

お薬に関する疑問、相談などの解決のお手伝いが出ればと思っています。よろしく願いいたします。

### さんしょう・介護職員 田中 奈海

はじめまして。11月に入职しました。

介護の仕事を選んだきっかけは、高校の先輩が介護の仕事をしていて、そのエピソードを聞くうちに自分も携わってみたいと思うようになったからで

す。具体的には、あまりお話しされない方が自分の関わりに対して「ありがとう」と言ってくれたりしたという話を聞いて、そういう仕事がしたいと思いこの仕事を選びました。



田中奈海さん

日々の介護で心がけていることは、利用者さんが自分の思いを語れる場を作ることです。

以前は特別養護老人ホームで働いていましたが、その時の経験や学んだことを活かして幸樹会で頑張っていきたいです。

## 階段も、らーくらく

可搬型階段昇降機を活用しています



ひと昔前は、エレベーターのない団地やマンションの上層階に住む要介護高齢者の外出を実現することは難問でした。可搬型階段昇降機が開発され、数年前から介護保険の対象となり、階段というバリアを克服し、上層階の要介護高齢者の外出がらくらくと実現できるようになりました。幸樹会でも、2階に住んでいる利用者の外出のために活用を開始しました。この機器は階段昇降機と階段昇降機用車椅子のユニットになっていて、安全設計されており階段の縁から滑り落ちたり、前方へ転落する心配はありません。操作者は操作講習を受ける等の条件がありますが、幸樹会では、福祉協同サービスの講習を受け、現在5名の職員が操作することができます。

## 外部研修報告

### 【介護職員】

#### ●喀痰吸引等第3号研修

看護小規模多機能型居宅介護さんしょうまたはケアステーションゆずで、吸引や経管栄養などを必要とする方の介護ができるようになるために研修を行っています。

### 【訪問看護】

#### ●災害時の在宅医療の課題

講師 東葛クリニック病院 東仲宣医師

学んだこと「市内には災害協力病院だけでなく、地域の診療所や訪問看護ステーション、訪問介護事業所や居宅介護事業所などさまざまな職種がいる。実際震災が起きてしまったときを想定した具体的なシミュレーションを重ねることで、それぞれの役割や円滑な支援体制の構築ができるよう準備が必要という話を他の訪問看護ステーションの職員とお話できてよかった」

#### ●「針刺し事故及び血液媒介感染症」

講師 いらはら診療所 和田 忠志氏

松戸市立病院院内感染対策室長 小森功夫氏

学んだこと「松戸市全体で決定されている在宅医療従事者に対する針刺し事故等の感染症早期対応方法を学ぶ事が出来たため、職員の安全確保のために共有・徹底をしていきます。」

今月の発電量は・・・

**837kwh**

\*幸樹会は再生可能エネルギーの普及を理念に掲げています。  
屋上のソーラーパネルで発電しています。

## 幸樹会基金募集中

幸樹会は、基金制度をもつ非営利型一般社団法人です。在宅ケア事業の発展と法人の財政基盤を健全なものにしていくための基金を募集しています。

基金は、1口1万円（何口でも可）。協同組合や生協の出資金制度と共通で、基金は法人の自己資本となりますが、条件を満たした時には返済をいたしません。お問い合わせは、幸樹会本部までお願いいたします。

## 定期勉強会

#### ●前回報告 11月18日（金）実施

テーマ「認知症の人の歴史を学びませんか～書籍

【私の声が聞こえますか】～を読んで」

助言者 武井幸穂氏

#### 【参加者感想】

「利用者さんの反応が文章だけでしっかり伝わってきて感動しました。自分もそういう文章がかけるようになって介護の現場を伝えていければと思います。」「次回はもう少し実践的なケアの話が聞いてみたい」

#### ●次回学習会予定

日時：12月16日（金）18：30～19：30

テーマ：「認知症の方々への支援の実際」

\*場所：幸樹会館2階 \*参加自由

## ブログ

<http://ameblo.jp/yuzu-kouzyukai/>

\*「ケアステーションゆず ブログ」で検索できます

#### ●幸樹会ホームページ

<http://www.kouju-kai.or.jp/>

#### ●からたち薬局

<http://ameblo.jp/karatachi-p/>

\*「からたち薬局 ブログ」で検索できます

#### ●あんず訪問看護ステーション <http://ameblo.jp/anzu-kouju-kai/>

\*「あんず訪問看護ステーション ブログ」で検索できます

## 一緒ににはたきませんか！？

薬剤師・看護師・介護職員・ケアマネジャーの方々、

お待ちしております☆

連絡先 一般社団法人幸樹会本部 中野三代子

住所：千葉県松戸市河原塚 411-1

TEL：047-701-7550

E-mail：[miyoko-nakano@kouju-kai.or.jp](mailto:miyoko-nakano@kouju-kai.or.jp)

## 編集後記

“多事多難”の1年も、はや師走。皆様のご支援ご協力で幸樹会館・さんしょうの運営も前進しています。地域交流カフェも試行錯誤をしながら12月20日で第6回目になります。皆様、ぜひおいでください。支援者の“釣師”から差し入れがある予定なので、ふぐ鍋が実現か？、ご期待ください。（な）